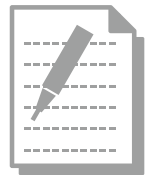


市民意識調査の意見と対応を紹介します

今後の市政運営に活用するため、平成25年度の市民意識調査を5月に実施しました。10月号でその主な結果を掲載し、12月号から、その他意見についての対応を一部要約して連載していきます。今月号は建設部・産業観光部および環境福祉部への意見と対応を掲載します。



【調査概要】三好市全域を対象とし、20歳以上の市民1,200人（無作為抽出）に調査票を送付し、496人（回収率41.33%）から回答を得ました。

建設部

【管理課】

意見 三好市の市営住宅がとても古くて老朽化しているところが多いように思います。今から若い人たちも入居の希望もあると思います。

対応 市営住宅につきましては、平成22年度に策定しました「公営住宅等長寿命化計画」で建て替えが必要と判定された住宅を対象として、建て替えを推進するための方策を検討する業務に取り組んでいます。



掛かったところです。今後は、建て替えに伴う予算確保の問題もありますが、この業務の結果を踏まえ、新たな公営住宅施策の推進を図っていきたく考えています。

意見 見が多数寄せられています。道路維持に関する要望などにつきましては、現地を確認し対応いたしますので、三好市役所管理課（☎72・7681）までご連絡ください。

【工務課】

意見 猪ノ鼻峠で交通事故が毎年発生している。早く道路開通をお願いしたい。

対応 一般国道32号「猪ノ鼻道路（トンネル工事）」については、国土交通省の直轄事業として、平成19年度より工事に着手し、これまで鋭意工事を進めてまいりました。

現在、箸蔵第2トンネルを工事中であり、早期に開通できるよう国に対し強く働きかけてまいります。



意見 山間部で道路の整備が進んでいない。

対応 山間部の道路整備につきましては、国庫補助事業や有利な起債事業を活用し鋭意事業の推進をしていますが、山間部特有の急峻脆弱

な地質構造に加え地理的条件も悪く、平坦部に比べ整備には多くの費用を要しております。今後においても、市民の皆さまの利便性向上のため事業の推進を図ります。

意見 カーブミラーの設置、道路柵の設置、側溝の清掃、側溝のふたの不具合など、道路維持管理に関する意

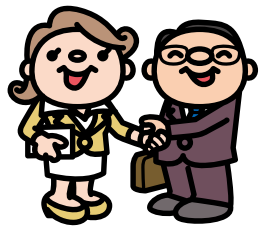
実施し、若者の雇用の拡大に努めています。引き続き、関係機関と連携を図りながら企業誘致に努めます。

産業観光部

【商工政策課】

意見 若者が就職できるような企業誘致を推進してください。

対応 企業立地支援制度を設け企業動向調査や企業訪問などを実施し雇用の場の確保に取り組んでいます。また、新卒者緊急支援事業や地元企業とのマッチングを図るため合同就職者面接会なども



意見 企業誘致とともに、地場の振興を望みます。

対応 市内製造業などの規模拡大や雇用に対する支援を行うとともに、商工会議所および商工会を通じて市内事業所への経営指導などに対する助成を行い商工業の振興に努めています。今後、関係機関と連携を図りながら、地元企業の育成や産業の活性化に努めます。

【観光課】

意見 三好市には手つかずの自然が残っています。秘境と言われることをアピールして観光にもっと生かされたらと思います。

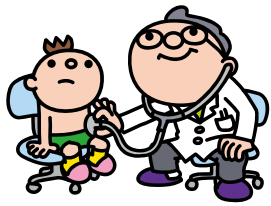
対応 秘境をブランド化するために、「千年のかくれんぼ」をキャッチフレーズ

環境福祉部

【保険医務課】

意見 医療費を中学まで無料にしてほしい。

対応 子どもの医療費助成制度における対象者の拡大につきましては、来年4月から中学3年生までを対象にできるように現在準備を進めております。



【健康づくり課】

意見 不妊治療費の助成金が減額になっている。三好市も助成されていると聞い

たが、反対に独自で金額を増やしたり、期間を長くしてほしい。

対応 平成25年4月より、国の助成金額が一部減額となりましたが、平成25年度におきましては三好市ではこれまでと同様に、特定不妊治療に要した費用から、県の助成金を控除した額のうち、1年間につき10万円を限度に助成を行っています。不妊治療には高額を要し、長期間の経済的・精神的負担が大きいことから、治療に係る負担が軽減され、安心して不妊治療が受けられるよう、現在三好市独自の助成金のさらなる充実について検討しております。

